



福島県労連

2024年 8月15日 Vol. 288(8月号)

発行／福島県労働組合総連合

〒960-8061 福島市五月町 2-5 一番ビル

TEL:024(522)3097 FAX:024(522)3102

Email:fkstoren@soleil.ocn.ne.jp

URL:<https://fkstoren.org/>

県労連第36回定期大会

「対話と学びあい」で職場活動を強化し、仲間を増やそう!

あいさつする野木茂雄県労連議長



福島県労連は、8月4日(日)、二本松市で「第36回定期大会」を開催しました(代議員と役員、約80人が参加)。

大会では物価高騰と実質賃金の低下が続く中で、職場の仲間の声を集め、それをもとに交渉を行い、要求をかちとった経験や仲間を増やした経験が交流されました。

大会では①2023年度の活動のまとめ(案)、②2023年度県労連会計・決算の承認、③2024年度運動方針(案)、④20

24年度県労連会計・予算(案)、⑤県労連規約改正案(活動改善のため、評議員会の開催を原則2回開催から1回の開催に変更する)⑥全労連共済福島県支部第13回総会議案の6つの議案が提案され、すべて承認されました。

今年度の運動方針では、3つの要求(①大幅賃上げ・底上げの実現、労働基準法の骨抜きを許さない、②地域の「公共」を再生し、持続可能な地域循環型の政治・経済の確立―「人権が守られる」―安心して住み続けることができる)「福島をつくる、③憲法改悪阻止、戦争する国づくり」にストップをかけ、平和憲法いかす政治への転換をはかる)の実現をめざすことを確認しました。そのために、「対話と学びあい」を重視して、組織を強く大きくしていくことをよびかけました。

大会では、野木茂雄議長など新しい幹事会を選出し閉会しました(下表参照)。



新役員です。

よろこばれています。

議長	野木茂雄(ふくしま一般)
副議長	笠原 浩(自治労連)
同	鈴木 修(農協労連)
同	高橋勝行(医労連)
事務局長	佐藤晃子(ふくしま一般)
同次長	添田雅弥(農協労連)
同	三浦朋喜(生協労連)
同	山田照夫(建交労)
幹事	安斎 通(年金者組合)
同	金沢 忍(福祉保育労)
同	斎藤光晴(福島地方労連)
同	佐々木伸也(医労連)
同	佐藤啓子(医労連)
同	佐原成典(二本松地方労連)
同	清水英之(県国公)
同	杉内清吉(県立高教組)
同	田神 亮(自治労連)
同	横尾啓一(私教連)
会計監査	斎藤善司(JMITU)
同	大内英明(年金者組合)

今大会をもつて、稲村和吉さん(事務局次長・生協労連)、大堀香織さん(幹事・福祉保育労組)、村上紘一さん(幹事・自治労連)遠藤崇資さん(会計監査・農協労連)が退任となりました。



身近な要求大切に、仲間を増やして要求実現を！

定期大会の討論では、17人が発言しました。各職場・地域での労働者の実態、そのもとの切実な要求実現のとりくみ、仲間づくりでの奮闘などが交流されました。発言の要旨を討論順に紹介します。

県国公

遠藤友行代議員

人事院勧告について。国の予算で賃上げ原資が決められているので、賃上げはするが、一方で配偶者の扶養手当の廃止が盛り込まれるようとしている。まずは国の予算を変えていかなければならないことを訴えていく。



建交労

瀧柳勝彦代議員

ダンンプ労働者の単価引き上げに全力をあげている。物価高騰により生活が厳しい中でも組合費を出している。その意味を考えなければならぬ。組合員参加型の活動のため、班体制の確立に努力している。



医労連

大波清貴代議員

コロナ対応の補助金が打ち切られ、きびしい状況。労働組合の活動



きびしい状況。労働組合の活動

で、組合員の声を聞く、コミュニケーションを図り、つながりを作っていく、自分で行動する職員を増やしその輪を広げていく。労働組合員でない人も大事にしなが、頑張っていく。

私教連

菅野智浩代議員

不利変更を許さない取り組みを機に



農協労連

鈴木勝博代議員

団体交渉で粘り強く要求し、始業前



のサービス残業を是正させた。

農協は一般企業より基本給も賞

与も低く、せつかく就職しても

給与水準の低さやノルマで退職

福祉保育労組

金沢忍代議員



医療・介護・福祉・児童保育などの

処遇改善等について、県・市と

交渉をおこなったが、県は「国

から予算が下りてこない」と難し

い、市は「自治体としてなかなか

か決められない」という残念な

回答が続いた。年に複数回、交

渉していききたい。

二本松地方労連

岡田昌也代議員



教職員の多忙化は深刻。精神疾患で

休む人が増えているが、替わり

の先生が配置できない状況だ。

小手先の対応では解消しない。

家で満足に食事ができず、給食

のない夏休み中に痩せてしまう

子がいる。給食費の完全無償化

を是非お願いしたい。

医労連

藤井明美代議員



JCHH病院では

積立金342億円を軍事費にとられた。返してほしい。経営の悪い病院は統合・廃止・売却する方針が出された。現場は人手不足の中で大変な思いで働いている。地域で頑張っている病院が残るよう運動を広げていきたい。

自治労連

白石田隆弘代議員



試用期間中に解雇された問題、パワハラで処分された問題、パワハラで処分されたが処分理由が明確に示されなかった問題、労組加入に対する最終的に解雇された問題―公務公共一般として3つの裁判をたたかっている。ご支援を。

医労連

S代議員



しのぶ福祉会のごワハラ裁判へのご支援に御礼を申し上げます。仙台高裁の判決が確定し、職場復帰を求め、現在2回の団体交渉を行っているが、法人側は誠実に対応していない。パワハラへの厳罰化も求めています。今後ともご支援を。

雇用と暮らしを守り、憲法をいかす政治と社会の実現



岩瀬・須賀川地方労連
永田博代議員

町内会のまつりで
の自衛隊装甲車の
展示について、町内会長や実行
委員長に申し入れをしたこと
ろ、「自衛隊を知ってもらうこと
は必要、そういうのは政治でや
ってくれ」とにべもない対応。
今後新市長に対しても申し入れ
をする。



郡山地方労連

草野芳明代議員

あれほど停滞して
いたアメリカの労
働組合運動が、ストライキやデ
モなどで社会にアピールし大き
な成果を上げている。労働組合
幹部による「サービスクラウド
型」ではなく、労組員の「自発的参
加型」で自分の要求の実現と仲
間を増やすことが必要だ。



年金者組合

大内英明代議員

でも入れる。来年から火災共済
の自然災害部分が大幅に改善さ
れる。職場でも共済をきっかけ

に組合員拡大をしてほしい。全
労連共済では学習会を開くと補
助金ができるので、活用してほし
い。



県立高教組

安斎真代議員

も同様。定額の超
過勤務手当を4%から10%に
増やす案だが、働いた分は全部
もらうのが当たり前。人件費の
総額は変えずに教員をランク付
けし給与に差をつける案も。導
入させないたたかいを。



福島地方労連

穴戸清代議員

会の定数見直しの
検討を要望する。長年定数通り
に選出できていない。単産でも
そろわない組織がある。地方労
連が定数通り選出でき、発言で
きるようになれば良いと思う
が、33年前の基準で良いの
か、一考する必要がある。



年金者組合

佐藤征司代議員

年金裁判の署名に

協力をおねがいする。年金者組
合を大きくして最低保障年金制
度を実現することをめざして頑
張っている。退職したときは
「ぜひ年金者組合に加入を」と
よびかけてほしい。現在県内に
20支部、全市町村に作るのが
目標だ。



年金者組合

長谷川重範代議員

福島市ではバスや電
車が無料になる「も
もりんシルバークラウド」がある。対
象を75歳以上から70歳以上ま
で下げてほしい。来年4月からの
改悪案が示され、反対署名にとり
くんでいるが反応がよい。全県の
問題として県に要望してもらいた
い。



定期大会に祝電、メッセージをお寄
せいただいたみなさん(敬称略)

- *福島県知事 内堀雅雄
- *衆議院議員 金子恵美
- *衆議院議員 馬場ゆうき
- *衆議院議員 玄葉光一郎
- *参議院議員 岩淵友
- *日本共産党福島県議団 団長 神山悦子
- *立憲民主党福島県総支部連合会 委員長 町田和史
- *日本共産党福島県委員会 代表 狩野光昭
- *社会民主党福島県連合会 議長 秋山正臣
- *全国労働組合総連合 議長 奥村 榮
- *青森県労働組合総連合 議長 越後屋建一
- *秋田県労働組合総連合 議長 中野るみ子
- *岩手県労働組合連合会 議長 高橋正行
- *宮城県労働組合総連合 議長 荻原圭子
- *山形県労働組合総連合 議長 井上裕子
- *新日本婦人の会福島県本部 会長 二瓶 聡
- *福島県生活と健康を守る会連合会 会長 二瓶 聡
- *平和・民主・革新の日本をめぐす福島県の会 (福島県革新懇)

「深刻な人手不足、現場の声を聴いてください」 福祉保育労組福島支部が福島県・福島市と懇談

福祉保育労組福島支部は、保育や介護などケア労働者の配置基準の見直しや処遇改善など5月に提出した要望書を基に7月9日（火）には福島県と、7月10日（水）には福島市とそれぞれ懇談を行いました。福祉保育労組からは2日間で18名が参加しました。

「要望する」という回答が繰り返されました。

次の日の福島市との懇談では市の担当部局から12名が対応しました。労組側から「物価高騰の中でも職員の工夫と苦勞で支出を抑えている」「0、1、2歳児の配置基準の改善は待ったなし。ていねいに保育しなければ命にかかわる問題」などの訴えに対し、『誰でも通園制』については詳細が知らされておらず、国や県の動向を見ている」「現状をどうかにかしなさいといけないとは思いつつ、市独自の施策は難しい」などの回答がありました。

県との懇談では、渡辺和博執行委員長が要望の趣旨説明を行い、県からの回答を受けた後、労組側の参加者が一人一人実情を訴えました。「保育士になって2年目で0歳児を担当している。時間によっては1人で6人の子どもを看なくてはならず、寝ている子、食事をしている子を同時に看ている『怖い』時間がある」「物価高騰分の交付金が不十分で、事業主は人件費で対応しているのが実情。交付金の増額を」という訴えに対し「国に

参加者は懇談後、「年1回にこだわらず現場の声を届けよう」とさらに奮闘することを確認しました。



まちがいは7つ



〈問題〉上の絵と下の絵を比べると7カ所のまちがひがあります。どこでしょう。印刷のよごれやかすれ、スクリーントーンの濃淡はまちがひに入りません。

応募のしかた

正解者5名に

図書カード当たります！

応募はハガキ（メールも可）に、①クイズの答え、②氏名（ふりがなも）、③住所、④所属労組名、⑤ひとことを必ず（必要な方はペンネームも）書き添えてご応募ください。締め切りは9月15日です。抽選で5名の方に図書カードをプレゼントします。

286号（6月号）の

クイズの答えと当選者

答えは①男性の左袖②カエルの葉の茎③左女性のスーツのボタン④右女性の傘の模様⑤右女性の口⑥下カタツムリの殻⑦右端葉の重なり方でした。応募者は10名で全員が正解。次の5名の方に図書カードを送ります。

- ◇スマイルさん コープあいづ労組
- ◇桜子さん 福厚労鹿島分会
- ◇だちんさん みやぎ生協労組
- ◇ホエイさん 福島県医労連
- ◇しんこさん 大原病院労組



県の担当者に対し趣旨説明をする渡辺和博執行委員長（7月9日 福島県庁）



保育現場の実情を訴える福祉保育労福島支部のみなさん（7月10日 福島市保健福祉センター）

聞いて聞いて

私の思い みんなの願い

☆毎日暑いですが！桃が最盛期です！

（ふくしま未来農協労組 yu16さん）

☆一人の力ではどうにもならない事も皆で力を合わせれば、人の心に届く伝わる変わる事ができると思います。みんながんばろ。

（会津地方労連 くらねこさん）

☆トランプ前大統領の襲撃には驚きました。どんな理由があろうと暴力は許されず、民主主義に対する挑戦です。公正な選挙が行われることを祈ります。

（みやぎ生協労組 だちんさん）

☆まちがいがいさがし、けっこう難しく頭の体操になります

（コープあいづ労組 スマイルさん）

自動車共済 まずはFAXで見積りを
割安な共済掛金、補償は充実！
等級別割引・割増の継承ができる！
全労連共済 お申し込み・お問い合わせは各共済会へ